

病棟看護師長 宮原 紀美子

健康・年のせいでしょうか？最近特に考えるようになり、お金のかわらないウォーキングを昨年の一〇月よりはじめました。きっかけは、お腹の周り・お尻に肉がついてきて服が入らなくなってきたからです。それと、子供達に迷惑を掛けたくないという思いから。まだ、何の変化もありませんが…継続は力なり…を信じて。



事務長 藤崎 信一

昨年、新年の目標として、休肝日をもつけ、できるだけ好きな焼酎をやめようとおもいましたが、やはり一日で無理と解りました。如何に自分が意志薄弱な人間かと痛感させられました。本年は、初詣で中吉・今、評判の占星術では今年一年運氣が上がるなど年明け早方がいいことがあるかもと期待しておりましたが、正月三日目にはギックリ腰を患い、少々不安な出だしとなりました。これを期に少々ダイエットなどを行って、細く長く生きられるように体力作りをする一年にします。(これもまた三日坊主で終わるぞっ！)

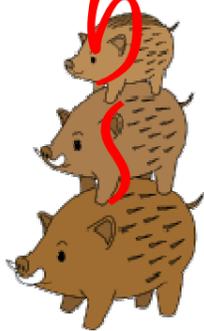
院内コンサート情報

昨年十二月。クラシックギター・全日本ジュニアチャンピオンの志野文音さん(十五歳)とフォークデュオ和音(かずね)のコンサートをいたしました。約六十人の患者さん達が、ギターや歌を楽しみました。この模様は南日本新聞にも掲載されました。志野文音さん・和音さん、本当にありがとうございました。



小田代病院 院内新聞

ふあみり



平成 19 年新年号

鹿児島市荒田1丁目25-6
TEL 099-253-8111
FAX 099-253-8140
ホームページ・アドレス

<http://www.i-omoto.jp/odashirol/>

「新年明けましておめでとうおめでとう」

企画室長 上山 健一

旧年中は多大なるご厚情とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も皆様に選ばれる病院づくりを目指すとともに、一次救急医療を通じて地域医療体制の一役を担えるよう、職員一同取り組んでまいりますので、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成十八年は医療にとつてどのような年であったでしょうか。医療費抑制を柱とした大幅な制度改革が推進され、医療機関の変革のみならず患者様側も医療に対する意識変革を強いられる年であったと思います。今後訪れる超高齢化社会において、医療と高齢者福祉との関係は益々複雑になっていき、医療の本意が問われる諸問題が発生することが予想できます。それには我々医療従事者と患者様との信頼関係を築くことが、より一層重要な課題になると思われます。また、医療機能区分が更に明確化され、他医療機関との連携による医療体制づくりが責務となっていくと思っております。

健康への願いは万人共通の思いであり、その重みも平等であると思いません。その願いにどう応えられるか、病院の真価が問われております。当院も患者様本位の医療とは何かを絶えず自問自答して、時代に即した医療が提供できるよう前進して行く事が、患者様、病院双方の幸せに結びつくと思っております。皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

ノロウイルス

最近流行のノロウイルス。基本的な知識があればある程度防ぐことができます。



どうやって感染するの？

- 食中毒：ウイルスが蓄積した二枚貝(蚌・アサリ・シジミなど)の生食や半生食
- 伝染：感染した人の嘔吐物・便などからウイルスが付着して体内に入り込む。(嘔吐物を拭き取ったあと、消毒されず空中に舞ったウイルスを吸い込んで体内に入り込む。)

症状は？

- 主に嘔吐・下痢：症状は「夜に床についていたら突然お腹の底から込み上げてくるような感触がきて嘔吐した」といったケースが多いようです。が、微熱だけで治まる人もいます。

ノロウイルスの危険度は？

- ノロウイルスで死に至るケースは稀です。
- 現在のところノロウイルスの特効薬はありません。

予防策は？

- 手洗い(特にすすぎをしっかりと)
- 調理する時はしっかりと加熱を
- 嘔吐・下痢：きれいに拭き取り、ハイター1.0ml+水=500mlの消毒液で拭く。
- 症状が出てから1週間くらいは入浴を避ける(無理なときはシャワー浴を)
- 水分・休養・排泄 ノロウイルス感染で一番怖いのは脱水を起こすことです!!とにかく水分補給し、体内からウイルスを排泄(嘔吐・下痢によって)して無駄な体力を使わない。



500ml ペットボトルを利用すると簡単です

編集後記

さあ、新年がスタートしました。皆さん、今年はどうな年であってほしいですか？報道ではいやな事件ばかりが流れています。いったい人間はどこに向かって歩こうとしているのでしょうか？全ての人間が「相手への思いやり」をもって生きていければいいのになあ。いい社会になるだろうなあ。

皆様、あけましておめでとうおめでとう

※今年各部署の責任者及び「年男、年女」の方に新年の抱負・目標を掲げてもらいました。今年も院内新聞「ふあみり」をよろしくお願致します。

★ 医局

理事長 小田代 憲一

今年 平成十九年

★生まれ

★医師になって

★開業して

七四年

四九年

三九年

ここまでできたら、過去を振り返ることなく、全てが今である。残された人生を出来るだけ元気で、ニコニコしながら生きよう。お説教もなにもいらぬ。

院長 小田代 卓也

- (一) 和顔愛語・・・いつも朗らかな心で
- (二) 惻隱の情・・・いたわりの心を持って
- (三) 率先垂範・・・まず自分から



副院長 徳重 正弘

小田代病院に勤務して二度目の新年を迎えました。小田代病院のペーソがやっと身体に染み付いてきたようです。新しい年を迎えるに当たり、外科的症例が、もう少し増えるように頑張っていきたいと思っております。

診療部長 小田代 晃治

- (一) 和顔愛語
- (二) 慈眼妙手

